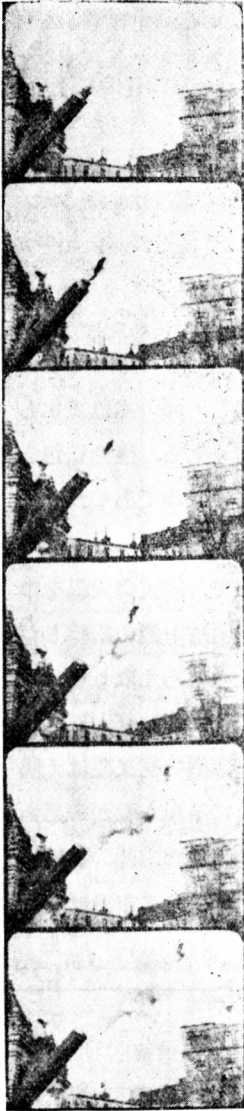


火星への門出！



夜の空に輝く星の世界へ——殊に美しい火星の國へ、行つて見たいなきも、考へる人は此の世の中に案外多い。そして、それには大砲弾となつて、「ズドン」を打ち出して貰ふに限るさういふ風にも考へる。ところが實際は果してみんなものだらう？ 一體、地球の引力が無ければ、火星へ行くにも、月へ行くにも、只、足で地球を一蹴り蹴るだけで好いわけである。しかるに、大さうな仕掛けで人間が大砲の弾丸となつて打ち出して貰はなければならぬなきさういふ事から考へて見るさ、ザツ、此の引力なるものが如何に強い力で地球へ人體を引きつけてゐるかが分かる。

それでは、果して大砲弾となつて打ち出して貰へば、確かに天界旅行が出来るか？ と言へば、決して々々左様では無い。地球の引力に打ち勝つて、其の圏外に乗り出すためには人でも、石でも——地上の、有らゆる物が、毎秒十一キロ以上の速度で飛び出さなければならぬさ、ニュトンの法則は教へてゐる。しかるに、現今の大砲の弾丸は、毎秒700メートルか、或は800メートルか、或はせいぜい1キロぐらゐるしか飛ばないのであるから、こん

な大砲で打ち出されたぐらゐでは、間も無く地上に舞ひ戻つて来るさういふわけ合ひである。だから此んな寫眞の通りの事が實現するのは、さても々々近い將來ではあるまい。